



特集

花粉の少ない森林づくりに向けて ー花粉発生源対策の取組についてー





林野庁長官賞

前人未到の無花粉スギ品種の 開発と実用化

【富山県農林水産総合技術センター森林研究所】



優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の初植樹

富山県農林水産総合技術センター森林研究所は、平成4年に全国で初めて発見した無花粉スギを用いて、発生源対策の切札としての実用化に向けた試験研究を開始しました。その後、無花粉となる性質の遺伝様式の解明、品種改良に必要なスギ精英樹の探索など、地道に取り組み優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を開発しました。

さらに、苗木の大量生産技術の開発、苗木生産マニュアルの配布、「とやま水と緑の森づくり税」を財源とした再造林の支援制度により、平成28年以降、富山県内の再造林はすべて無花粉スギ苗木に置き換わっています。

花粉症対策苗木の植林を推進する 協定および寄付について

【タマホーム株式会社】



森林ツアー

タマホーム株式会社は、花粉症で悩む人たちを減らすため、県庁・森林組合と連携し花粉症対策苗木の植林を支援すること、スギ花粉問題の解決の一助となることを目指しています。大分県、宮崎県、栃木県と協定を結び令和6年までに約3,600ha、本数にして約800万本の花粉症対策苗木を植林しました。

また住宅メーカーとしてお客様に自社の取組を広め、森づくりを身近に感じていただくため、各県で「森林ツアー」（一般消費者に対して、植林体験や工場見学を通じて国産材を知っていただくイベント）を定期的に実施しています。



全国林業改良普及協会会長賞

花粉症対策品種の選抜と実用化

【神奈川県自然環境保全センター】



無花粉ヒノキ「丹沢 森のミライ」採穂園と採穂状況

神奈川県自然環境保全センターは、早くから花粉症対策品種の選抜を進め、花粉の少ないスギを選抜し、全国初の採種園を造成しました。平成16年に全国で初となる花粉の少ないヒノキを選抜し、平成28年には、全国で初めて出荷する苗木をスギ・ヒノキともに全て花粉症対策品種に転換しました。精英樹家系の無花粉スギ「田原1号」を平成16年に発見し、平成22年の第61回全国植樹祭に初出荷して以降増産を進め、現在、年間約1万本を生産しています。また、平成24年に全国で初めて無花粉ヒノキを発見し、令和3年に「丹沢 森のミライ」として初出荷しました。生産した花粉の少ない苗木を活用して交付金事業により43・1haの県有林に植栽を実施しました。

特定苗木の普及拡大に向けた採種穂園の整備と苗木生産

【日本製紙株式会社】



閉鎖型採種園

日本製紙グループは、花粉量が一般的なスギ・ヒノキと比べて概ね半分以下となる特定母樹から生産される特定苗木の普及に取り組んでいます。九州では特定苗木の採種園を2県（熊本・大分）、本州では閉鎖型採種園を4県（秋田・静岡・広島・鳥取）で整備しました。採取した種子や穂木を全国の生産者に提供し、協業体制を構築して苗木生産を行うことで、地域の雇用創出や産業活性化への貢献につなげています。生産した苗木は社有林に植えるほか、各地の種苗組合を通して林業事業者などへ販売しています。今後、令和12年までに年間1,000万本の生産体制構築を計画しています。

アサヒグループ「アサヒの森」再造林に花粉の少ない苗を使う取組

【アサヒグループジャパン株式会社】



「アサヒの森」赤松山に植えた少花粉スギ

アサヒグループは、「自然の恵み」を享受して事業活動を行っており、自然の恵みを次世代に引き継ぎ、豊かな社会の実現に貢献するという考えに基づき、80年以上にわたり社員の手でアサヒの森を守り続けています。2019年に広島県主催の「花粉症発生源対策普及イベント」に出席したことで、花粉症発生源対策の必要性を認識し、それ以降、主伐後の再造林では少花粉スギを植えています。（植栽：840本 2025年1月現在）。



2024年We Love Forestの森 植樹祭

【一般社団法人 緑の循環認証会議 (SGEC/PEFCジャパン) ・ 森林認証促進協議会】



「We Love Forestの森」植樹祭

森林認証制度のSGEC/PEFCジャパンと森林認証促進協議会は、SDGsに貢献する森林認証の拡大と、「森と人間との共生」が可能となる花粉の少ない森林づくりを目指しており、その一環として少花粉スギ・ヒノキによる「We Love Forestの森」植樹祭を令和元年以降毎年開催しています。

関係団体・企業や地域住民の皆様に認証林での植樹活動へ参加していただくことにより、健全な森林を守り育ていくことの大切さを体感・理解する機会を提供しています。

奨励賞

このほか、花粉の少ない森林づくりに貢献する優良な取組として、次の11事例に奨励賞が贈られました。

- ・花粉の少ないスギ挿し木苗の効率的な育成技術の開発
【「若手県林業技術センター」】
- ・多雪地域における花粉の少ないスギの選抜と種子生産の推進
【「山形県森林研究研修センター」】
- ・無花粉スギの品種開発
【「静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター」】
- ・花粉の少ないエリートツリー種子（特定母樹由来種子）の生産
【「静岡県経済産業部 森林・林業局 森林整備課」】
- ・西伊豆町有林における主伐再造林の取組
【「株式会社いなずさ林業」】
- ・日南町樹木育苗センターにおける優良苗木の生産
【「日南町森林組合・株式会社ウッドカンパニーニチナン」】
- ・少花粉スギ・ヒノキ採種園の造成と種子の生産・供給
【「岡山県農林水産総合センター 森林研究所」】
- ・エリートツリー等を利用した再造林の啓発普及
【「阿蘇森林組合」】
- ・「少花粉スギ」コンテナ苗生産及び増産
【「日之影町林業研究グループ」】

おわりに

スギ花粉症の有病率は、既に国民の4割以上に達しており、森林・林業関係者には、花粉飛散量の削減に向けて、花粉の少ない森林づくりを進めることが期待されています。林野庁では、引き続き「花粉症対策の全体像」及び「花粉症対策初期集中対応パッケージ」に基づく花粉発生源対策の取組を進めてまいりますので、皆様には、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

- ・「林研グループが森林組合と協働で少花粉スギコンテナ苗を生産」それから「再造林」
【「都城森林組合・都城コンテナ苗等生産部会」】
- ・カラマツの植林による多様な森林づくり
【「日南町森林組合」】



花粉の少ない森林づくりコンクール受賞者の表彰